

でき、私も車いすをおして、いろいろな場所をいっしょに回ることができました。旅行中、いろいろな場所で車いすを借りることができることを知って、家族みんなでおどろきました。前は「歩けないから行けない」と思っていた場所にも行けることができたのです。車いすがあることで、行ける場所がぐんと広がりました。

「車いすってすごいね。わたしにも、まだ行ける場所がいっぱいあるのね。」

とひいおばあちゃんが言うてくれました。ひいおばあちゃんも、車いすで出かけられることのうれしさを感じてくれたようでした。これまであきらめていた場所にもこうしてまたみんなといっしょに行けるようになったことがとても幸せそうでした。私も、ひいおばあちゃんの楽しそうな顔を見て、心からうれしくなりました。

旅行から帰ったあと、お母さんが地いきの社会福祉協議会で車いすを無料で借りられることを教えてくれました。次の旅行のときは、出かける前に車いすを借りて準備しました。そのおかげで、ひいおばあちゃんも最初から安心して旅行を楽しむことができました。その旅行でも、おいしいものを食べたり、おみやげを選んだり、写真をとったりと、たくさん思い出ができました。ひいおばあちゃんが車いすで動きやすくなったことで、家族みんながいっしょに過ごす時間がふえたように思います。私が車いすをおすと、

「ありがとね。うれしいよ。」

とひいおばあちゃんはやさしくほほえんでくれました。

学校でも赤い羽根ほ金活動があり、ほ金の意味について学びました。その中で、車いすを買うお金などにも使われていると知り、私がかれまですてしてきたば金が、ひいおばあちゃんや他の人の役に立っていることを知ってまたうれしくなりました。

家族でいっしょに過ごす時間は、私にとって宝物のように大切です。ひいおばあちゃんは足が弱くなってきているけれど、まだ元気です。車

いすがあることで、これからもたくさん場所へ出かけて、思い出を作ることが出来ます。車いすが広げてくれたのは、行ける場所だけでなく、家族の笑顔と楽しい時間だと分かりました。これからも、車いすといっしょに、ひいおばあちゃんとの思い出をふやしていきたいと思えます。

